

「まちづくり懇談会」の開催結果をお知らせします



市は、2月18日から22日まで市内8か所9回にわたって「まちづくり懇談会」を開催しました。この懇談会は、市が今後重点的に推進するために検討を進めている「道の駅を拠点とする『にぎわい』創出プロジェクト」、「消防の広域化」や「消防庁舎の建設」などの事業概要と、これらの事業展開に伴う今後の財政収支見通しを説明し、市民の皆さんとの情報の共有化を図るとともに、市民の皆さんから率直なご意見やご提言をいただくために開催したもので、延べ196人の市民の皆さんが参加し、多くのご意見・ご提言をいただきました。今回は、その主な内容をお知らせします。

ご意見・ご提言の主な内容

道の駅を拠点とする「にぎわい」創出プロジェクトに関すること

- 道の駅への一点集中ではなく、駅前等への波及やシャワー効果を考えてほしい
- 道内のにぎわっている道の駅は、お店がたくさんあるので、いろいろなお店を出してほしい
- 駅前が寂しくなっている中で、道の駅の構想が前面に出してしまうと、駅前に対する市民の不安を募らせることになるので、駅前の活性化策とあわせて、道の駅の構想を取り進めてほしい
- 道の駅がにぎわうことは、まちにも良い影響が出ると思うので、道の駅のにぎわいがまち全体に波及するような手法を考えてほしい
- 道の駅などの再整備よりも、市立病院の経営健全化や医師確保を優先してほしい
- 道の駅には、魅力ある商品が少ないので、購買意欲をそそる商品や地元産品を使った芦別ならではの商品開発とあわせて、明るい店の雰囲気や商品の並べ方などにも工夫してほしい
- 高齢者や歩行の困難な方が利用しやすいようレストランを1階に設置してほしい
- 出入口を改善してほしい。また、垣根が妨げになっているので、通過車両から見通せるようにしてほしい
- 旭ヶ丘公園は、一方通行で構わないので、バスで行けるような周遊道路を整備してほしい
- 旭ヶ丘公園は、周りの自然を生かした整備をしてほしい

消防の広域化や消防庁舎建設などに関すること

- 広域化によって救急出動などが遅れることが危惧されるので、しっかり対応してほしい
- 広域化によって地域や分団との関わりが薄れることのないよう配慮してほしい
- 広域化によるデメリットがないように慎重に進めてほしい
- 消防庁舎の建設にあたっては、市有地での建設を検討してほしい
- 消防庁舎は市民負担とならないよう適切な規模で建設してほしい

財政運営に関すること

- 人口減少が進む中、市民負担とならないよう慎重に検討してほしい
- カナディアンワールドの二の舞にならないよう十分注意してほしい
- 箱物は最終的に老朽化するので、芦別の身の丈にあった整備をしてほしい
- 福祉や市民生活に密着したことに優先してお金をかけてほしい
- 事業実施にあたっては、補助金の活用やできるだけお金をかけないですむように慎重に検討してほしい
- 施設整備よりも、現在の市民負担の軽減を考えてほしい

◆このほか、市立病院に関すること、生活交通路線に関することなど、たくさんのご意見ご提言をいただきました。

今回市民の皆さんからいただいた貴重なご意見ご提言を十分受け止め、慎重に検討させていただくとともに、今後のまちづくりに役立てていきますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。なお、懇談会の詳しい内容についてお知りになりたい方は、まちづくり推進係までお問い合わせください。また、懇談会の結果概要は、市役所1階「市民参加と協働のコーナー」、総合福祉センター、青年センター、図書館、各コミュニティセンターに配置しているほか、市公式ホームページでもご覧になれます。